

第66回企画展

江若鉄道の思い出

平成27年3月7日(土)～4月12日(日)

長く湖西の交通機関として愛されてきた江若鉄道は、国鉄湖西線の建設にともない、昭和44年に廃線となりました。本展では、当時の懐かしい写真などとともに、みなさんの思い出話をふんだんに織り込みながら、廃線から45年以上経過した今も、多くの人々に語り継がれる江若鉄道の思い出を紡ぎだします。

第67回企画展 開館25周年記念

広重の旅 浮世絵・近江・街道

7月25日(土)～8月30日(日)

海外で「霧と雪と雨の芸術家」とたたえられた歌川広重(1797～1858)は、名所風景画に才能を開花させ始めた頃から近江の名所風景の仕事も手がけており、最晩年にいたるまで描きつづけています。

本展では、傑作の「【保永堂板】東海道五十三次」や「【保永堂・栄久堂板】近江八景之内」を始め、様々な街道・名所風景表現をみせた多様な広重の近江の浮世絵風景版画の世界を、江戸時代の近江の街道・名所を描いた絵画作品と併せて紹介します。



歌川広重
木曾海道六十九次之内 大津 本館蔵

第68回企画展 開館25周年記念

比叡山

10月10日(土)～11月23日(月・祝)



延暦7年(788)に、伝教大師最澄によって建立された比叡山延暦寺は、我が国を代表する大寺院の一つとして世界的に著名です。当館では開館以来、この比叡山に関わる様々な文化財調査を行ってきました。

今回は、大津が育んだ重要な歴史的文化的の一つである比叡山の仏教文化や歴史について、今まで行った調査をもとに紹介します。特に比叡山の知識の宝庫、叡山文庫に現存する史料や聖教にもスポットを当てる予定です。

絹本著色天台大師・伝教大師・慈覚大師像
延暦寺山内寺院蔵

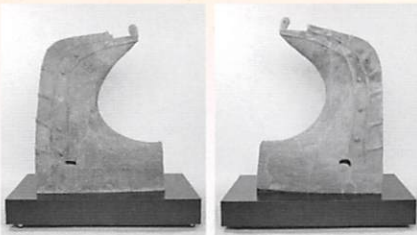
第69回企画展 開館25周年記念

大津歴博の玉手箱

平成28年3月5日(土)～4月17日(日)

平成27年、大津市歴史博物館は開館25周年を迎えます。本館は、これまで館藏品に加え、寄託品や調査資料など、市内外の歴史や文化を次世代へ伝える多くの文化財を収蔵・収集してきました。

本展は、それらを分野ごとに徹底分析し、キラリと光る大津の歴史に触れながら、文化財の見方や楽しみ方を詳しく紹介します。



重要文化財 鷗尾 山ノ神遺跡出土 大津市蔵

企

4月

第119回ミニ企画展

西教寺伝来の屏風

平成27年3月3日(火)～4月12日(日)

天台真盛宗総本山の西教寺には、仏教美術以外にも多くの絵画が伝えています。今回は普段あまり公開されない西教寺に伝わる屏風を紹介します。

5月

第120回ミニ企画展

平成26年度新収藏品展

4月28日(火)～6月7日(日)

当館では、購入、受贈、受託によって収藏品の充実を行い、常設展示・企画展示に活用しています。今回は、平成26年度に新たに収集した資料をお披露目します。いずれも大津の歴史を語る貴重な資料です。

6月

第121回ミニ企画展

大津の古墳時代

6月9日(火)～7月26日(日)

古墳時代の天津では、4世紀後半～5世紀には琵琶湖を望む丘陵上に大型の古墳が、6世紀～7世紀には小規模な古墳が次々と造られました。特に錦織から坂本に至る地域には約1000基もの古墳が密集しており、その多くは渡来人系の特徴を持っています。本展では、大津市域に造られた様々な古墳について紹介します。

7月

第122回ミニ企画展

戦前から戦後の学校教育

7月28日(火)～9月6日(日)

昭和20年8月15日の終戦の日を挟んで、学校教育の内容は180度の転換を見せました。本展では、「御真影」と「教育勅語」に代表される戦前、戦中の教育から、GHQの指導による戦後の「民主教育」の普及までを対象に、教科書の移り変わりや学校生活の様子などを、さまざまな資料と写真で紹介いたします。

8月

9月

第123回ミニ企画展

与謝蕪村生誕300年記念

近江蕪村 九老・金谷

9月8日(火)～10月12日(月・祝)

18世紀末から19世紀前半、近江蕪村と呼ばれるユニークな文人画家が大津で活躍しました。ひとりには、呉春と並ぶ蕪村高弟の紀操亭(九老)。おおらかでほのぼのした作風で大津の町衆に愛されました。時を隔てず、蕪村に私淑した横井金谷は、坂本に庵を結び、その奔放な人柄で人々に愛され、地元にも多くの作品を残しました。現代感覚にも通じる彼ら文人画家の世界を紹介します。

10月

11月

第124回ミニ企画展

阿婆縛抄(企画展第2会場)

10月14日(水)～11月23日(月・祝)

天台宗の教義や仏像について記した書物に、鎌倉時代に大成した「阿婆縛抄(あさばしょう)」があります。本展では、企画展「比叡山」の第2会場として、延暦寺や西教寺など、周辺に現存する写本のいくつかを紹介します。

12月

第125回ミニ企画展

趣味家謹製!! 申年の年賀状

12月8日(火)～平成28年1月17日(日)

大正・昭和の趣味家(コレクター)たちが交換会を通じて制作した「道楽絵はがき」。今回は本館の米谷コレクションの中から、昭和7年(1932)と19年の申年に交換された年賀状を中心に展示します。洒落や見立てに知恵を絞った絵はがきの数々をお楽しみください。

1月

2月

第126回ミニ企画展

大津の古文書9 大津算盤をつくった人々

1月19日(火)～3月6日(日)

慶長17年(1612)、大津一里塚町(現大谷町)の片岡庄兵衛は、長崎で中国・明の算盤を手に入れ、改良を加えて大津算盤を作りました。以後、大津算盤は江戸時代を通じて東海道の土産物としても全国へ出荷されていきました。本展では、江戸時代から明治時代にかけて大津算盤を作った職人や株仲間に関係する古文書を中心にその歴史を紹介します。

3月

企



大津市歴史博物館

2015.4 ▶ 2016.3 催し物案内

Otsu City Museum of History

ご利用案内

■常設展示観覧料(1人1回につき)

区分	個人	団体(15人以上)
一般	270円	210円
高校生・大学生	200円	160円
小学生・中学生	130円	100円

※大津市内在住の65歳以上の方・大津市内在住の障害者の方は無料(証明するものをご提示ください)。

※ミニ企画展は、常設展示観覧料に含まれます。

※企画展は別料金です。

■歴博カード

1年間有効のお得な定期観覧券です。また、当館発行の出版物や催し物の割引、様々な情報のご案内など、多くの特典を設けております。(1年間有効)

料金：一般2,000円、高大生1,500円、小中生1,000円

詳しくは博物館までお問い合わせください。

■開館時間

午前9時～午後5時(展示室への入場は午後4時30分まで)

■休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館し、翌日が休館)

祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)

年末年始(12月27日～1月5日)

館内点検(6月23日～25日)

その他、業務の都合により休館する場合があります。

■駐車場

約70台(無料)

■アクセス

・京阪電鉄石山坂本線「別所」駅

下車徒歩5分

・JR湖西線「大津京」駅

下車徒歩15分



大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL (077) 521-2100 FAX (077) 521-2666
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

※れきはく講座は、事前申込が必要ですが、

れきはく講座は、土曜日の午後で開催している、当館学芸員や各分野の専門家による講座です。年30回程実施しています。また、当館学芸員や現地講師の案内で、大津市内や周辺地域の史跡や文化財を、徒歩で巡る現地見学会も、年4回程実施しています。

れきはく講座

当館では年間に30回程度の講座を開催しています。

*貸し館の催し物につきましては、当館ホームページをご覧ください。

企画展示

当館の調査・研究の成果より、展覧会として実施できる大津・近江の歴史と文化に関するテーマを選定し、開催している企画展覧会です。

ミニ企画展

当館の収蔵品や寄託品を中心とした、大津に関する小テーマ展示です。常設展示室1階のミニ企画展コーナーで、年間7回程度開催しています。

常設展示

大津市内の特徴的な6地域を視点としたテーマ展示と、市全体の歴史の流れを時代順にたどる歴史年表展示の2つの構成で、[大津の歴史と文化]を紹介しています。

事業案内